

Ⅱ. 事業の概要

1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）

- 1) 海外研修
- 2) 海外招聘指導者
- 3) 芸術特別研究

2. 演奏会関係

- 1) 演奏会
- 2) テアトロ・ジューリオ・シウワ・オーケストラ活動報告
- 3) 生涯学習講座

3. 研究所関係

- 1) オペラ研究所
- 2) バレエ研究所
- 3) 舞台芸術政策研究所
- 4) 歌曲研究所
- 5) アートマネジメント研究所
- 6) 音楽療法研究所
- 7) 音楽教育研究所
- 8) ピリオド音楽研究所

4. 附属教室関係

- 1) 附属音楽・バレエ教室
- 2) 附属ピアノアートアカデミー

海外研修

1. イタリア研修

平成30年度イタリア研修

(目的) 日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等を向上することを目的とする。

海外研修 I	平成30年度実績	参加人数
長期A団 (ピアノ)	2月 7日～2月24日	10名
長期B団 (声楽)	2月 7日～2月24日	22名
海外研修 II		
ヨーロッパ実技	8月29日～9月 7日	17名
海外研修 IV		
ヨーロッパ見学	開催せず (10名未満)	0名

2. 英語研修

平成24年度からは、国内での語学研修「英語研修」とロンドン・パリでの研修「海外研修II」の2つの授業に分割し、「英語研修」はアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコース必修科目として実施している（「海外研修II」はアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコース選択科目として実施）。平成30年度は2月27日から3月2日にかけて実施。

3. アートマネジメント・舞台スタッフ研修

平成24年度に、それまでの「英語研修」を「英語研修」と「海外研修II」の2つの授業に分割した。その内の「海外研修II」をアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目として、また、「海外研修V」(個人研修)、「海外特別研修①②」(大学院修士課程)として実施している。イギリス・ロンドンとフランス・パリの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、舞台関係者からの特別講義を実施している。

平成28年度からは、渡航先をイギリス・ロンドンとイタリア各所に変更し、平成30年度は3月5日から3月15日にかけて実施、参加人数は23名。

4. バレエロンドン研修

平成20年度以降は2月下旬から3月上旬にかけて、平成19年度に開設された大学バレエコースとともに合同で実施。

平成30年度も引き続き「海外研修Ⅱ」、「海外研修Ⅴ」の選択科目として、平成31年2月25日から3月6日にかけて実施、参加人数は24名。

5. ミュージカル実技研修

ニューヨークの総合ダンススクール「ステップス」及び「BDC」でダンスのレッスンを受講。平成30年度は、平成31年3月1日から3月11日にかけて実施、参加人数は19名。

6. ニューヨーク見学研修

平成21年度に「海外研修ⅡD」として開講し、ミュージカル実技研修「海外研修ⅡC」と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施した。平成30年度は、平成31年3月3日から3月13日にかけて実施予定であったが、参加予定者数が10名に満たなかったため中止となった。

7. 電子オルガンアメリカ研修

電子オルガンコースについては平成17年度より研修先をアメリカに移して、即興演奏のレクチャーと実習、音楽鑑賞、市内見学等を行っている。
平成20年度からは開講しないこととなった。

8. サウンドプロデュースイギリス研修

平成17年度より「海外研修Ⅱ」の授業としてイギリスのリーズ音楽大学を主な研修先として実施する予定であったが、ロンドンでテロ事件が発生したため延期となり、平成20年度からは開講しないこととなった。

9. 舞台スタッフ海外研修

平成18年度より「海外研修Ⅱ」の授業としてアートマネジメントコースと合同で実施している。平成19年度以降も引き続きアートマネジメントコースと合同で実施している。

イタリア研修所利用状況

期間	日数	利用目的	利用者(人)				
			本学学生	本学教職員	招聘講師等	地域住民等	その他
H30(2018) 4月3日～4月7日	5	外部貸し出し (声楽マスタークラス)					参加者6名 講師2名 通訳伴奏1名
H30(2018) 8月29日～9月5日	8	実技研修 (ピアノ・声楽)	17	3	7	0	
H30(2018) 10月28日	1	スキャヴォンマラソン大会				200	庭園のみ開放
H31(2019) 2月8日～2月20日	13	長期研修 (ピアノ+声楽)	32	5	16	55	
H31(2019) 3月7日～3月9日	3	海外研修(イタリア・ロンドン) アートマ・舞台スタッフコース(選択)	22	4	0	0	
計			71	12	23	255	
※ 本学研修における、「地域住民等」は研修中に開催する演奏会聴衆者を示す。			361				

海外招聘指導者

○平成30年度 招聘指導者実績

1. ダン・ルーカス (トロンボーン)	4月12日	公開レッスン
2. カルメン・サントーロ (声楽)	5月25日~6月3日	レッスン
3. ジョン・オコーナー (ピアノ)	6月2日~6月15日	レッスン・公開講座
4. マイケル・サックス (トランペット)	6月4日	公開レッスン
5. ベルギー金管アンサンブル	6月12日	公開講座・コンサート
6. クリストフ・エス (ホルン)	6月25日	公開レッスン・コンサート
7. PL・グラーフ (フルート)	8月3日~8月7日	レッスン・コンサート
8. ハビエル・コントレラス (作曲)	9月20日	ワークショップ
9. NA・キング (オーボエ)	10月16日	公開レッスン・コンサート
10. ベン・フューズ (バレエ)	11月19日~12月15日	レッスン
11. ロベルト・サンティーニ (イタリア語)	11月14・16日	イタリア語授業
12. JB・リエラ(ユーフォニアム)	12月8日	公開レッスン・コンサート
13. パリ管弦楽団木管五重奏	12月17日	公開レッスン・コンサート

平成30年度 芸術特別研究 実施演目一覧

【分野区分】 A:クラシック音楽 B:オペラ・バレエ・ミュージカル・演劇 C:ジャズ・ポピュラー・その他 D:邦楽・日本古典芸能

回数	日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
1	4月15日	日	アルテリッカブレ 同侪会ジャズ・ポピュラーライブ	21ホール	C	学外公演
2	4月21日	土	アルテリッカブレ 同侪会クラシック	ユリホール	A	
3	4月22日	日	アルテリッカブレ 同侪会ミュージカル ショーケース「START OUT!」	リリエ	C	
4	4月27日	金	渋谷の夜の狂言会	渋谷セルリアンタワー能楽堂	D	学外公演
5	4月28日	土	アルテリッカ 藤原歌劇団公演オペラ「チェネレントラ」	ジーリオ	B	
6	4月29日	日	アルテリッカ 藤原歌劇団公演オペラ「チェネレントラ」	ジーリオ	B	
7	4月29日	日	アルテリッカ Music Bar 国府弘子スペシャルトリオ with 本田雅人	21ホール	C	学外公演
8	4月30日	月・祝	アルテリッカ トリオ・リベルタ コンサート	麻生市民館	A	学外公演
9	5月1日	火	アルテリッカ Music Café 郡愛子と折江忠道の“非”常識コンサート	21ホール	A	学外公演
10	5月2日	水	アルテリッカ 東京交響楽団演奏会(指揮:梅田俊明 ピアノ:小山実稚恵)	ジーリオ	A	
11	5月3日	木・祝	アルテリッカ 人間国宝の競演「友枝昭世と山本東次郎の至芸」	麻生市民館	D	学外公演
12	5月3日	木・祝	アルテリッカ プーレトリオ「ドビュッシー三昧～没後100年に寄せて～」	ユリホール	A	
13	5月4日	金・祝	アルテリッカ 和太鼓梵天コンサート2018	ジーリオ	D	
14	5月4日	金・祝	アルテリッカ アートマネジメントコース自主企画公演デキシーランド×SHOWA	ユリホール	C	
15	5月4日	金・祝	アルテリッカ 近未来名人寄席①春風亭昇太	21ホール	D	学外公演
16	5月4日	金・祝	第88回読売新聞社主催新人演奏会	東京文化会館	A	学外公演
17	5月5日	土・祝	第88回読売新聞社主催新人演奏会	東京文化会館	A	学外公演
18	5月5日	土・祝	アルテリッカ 近未来名人寄席②三遊亭好楽	21ホール	D	学外公演
19	5月6日	日	アルテリッカ ザ・しんゆり・ガラ・コンサート	ジーリオ	A	
20	5月12日	土	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団「ドラゴンクエスト」	ジーリオ	B	
21	5月13日	日	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団「ドラゴンクエスト」	ジーリオ	B	
22	5月15日	火	推薦演奏会①	ユリホール	C	
23	5月22日	火	能(日本伝統音楽演習との乗入れ)	ユリホール	D	教職流用不可
24	5月26日	土	ウインド・シンフォニー定期演奏会	ジーリオ	A	
25	6月3日	日	ミュージカル「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」	赤坂ACTシアター	B	学外公演
26	6月5日	火	作曲作品発表	ユリホール	A	
27	6月6日		ピリオド音楽研究所第23回公開講座	C511	A	
28	6月7日	木	教員、研究員発表①	ユリホール	C	
29	6月12日	火	推薦演奏会②	ユリホール	C	
30	6月16日	土	歌舞伎(日本伝統音楽演習との乗入れ)	国立劇場	D	学外公演
31	6月17日	日	歌舞伎(日本伝統音楽演習との乗入れ)	国立劇場	D	学外公演
32	6月23日	土	テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ定期演奏会	ジーリオ	A	※授業調整日
33	6月26日	火	雅楽(日本伝統音楽演習との乗入れ)	ユリホール	D	教職流用不可
34	6月27日	水	室内合奏団定期演奏会	ユリホール	A	
35	6月29日	金	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	C	学外公演
36	6月30日	土	吹奏楽団・航空中央音楽隊合同演奏会	ジーリオ	A	
37	6月30日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演

回数	日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
38	7月8日	日	吹奏楽特別演奏会	ジーリオ	A	
39	7月8日	日	善竹狂言会	千駄ヶ谷 国立能楽堂	D	学外公演
40	7月21日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演
41	9月22日	土	英語劇「夏の夜の夢」(開演前のプレ講座、終演後の交流会参加必須)	スカラ(プレ講座)/リリエ	B	
42	9月22日	土	大学ミュージカル	アートセンター	B	学外公演
43	9月23日	日	大学ミュージカル	アートセンター	B	学外公演
44	9月28日	金	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	C	学外公演
45	9月29日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演
46	10月6日	土	大学オペラ公演2018「ファルスタッフ」	ジーリオ	B	
47	10月7日	日	大学オペラ公演2018「ファルスタッフ」	ジーリオ	B	
48	10月11日	木	教員、研究員発表②	ユリホール	C	
49	10月16日	火	推薦演奏会③	ユリホール	C	
50	10月18日	木	ピリオド音楽研究所第24回公開講座	ブリオ	A	
51	10月18日	木	銀座の夜の狂言会	銀座シックス 観世能楽堂	D	学外公演
52	10月24日	水	室内楽定期演奏会	ユリホール	A	
53	10月27日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演
54	10月28日	日	コンチェルト定期演奏会	ジーリオ	A	
55	10月30日	火	学長賞声楽コンクール本選	ジーリオ	A	
56	11月6日	火	教員、研究員発表③	ユリホール	C	
57	11月8日	木	作曲学科作品・研究発表	ユリホール	A	
58	11月13日	火	推薦演奏会④	ユリホール	C	
59	11月17日	土	かわさきジャズ	ジーリオ	C	
60	11月23日	金	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	C	学外公演
61	11月24日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演
62	11月25日	日	管弦楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
63	11月29日	木	電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A	
64	12月1日	土	音大オーケストラ・フェスティバル	ミューザ川崎	A	学外公演
65	12月2日	日	学部バレエ試演会・卒業公演	ジーリオ	B	
66	12月4日	火	弦管打楽器指導者コース発表会	ジーリオ	A	
67	12月8日	土	スターダンサーズ・バレエ団「くるみ割り人形」	ジーリオ	B	
68	12月9日	日	スターダンサーズ・バレエ団「くるみ割り人形」	ジーリオ	B	
69	12月15日	土	メサイア	ジーリオ	A	
70	12月16日	日	吹奏楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
71	12月16日	日	善竹富太郎の狂言会SORORI	千駄ヶ谷 国立能楽堂	D	学外公演
72	12月22日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演
73	12月24日	月・祝	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演	ジーリオ	B	
74	12月29日	土	テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ第九演奏会	ジーリオ	A	

演奏会・講座・提携事業等

I 演奏会

平成30年度実績

月日	曜日	名称	会場
4月1日	日	平成30年度 入学式奏楽・祝賀演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月6日	日	ザ・しんゆり・ガラコンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月15日	火	第1回推薦演奏会	ユリホール
5月26日	土	吹奏楽団 昭和ウインド・シンフォニー第19回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
6月5日	火	第20回作曲学科作品発表	ユリホール
6月7日	木	教員・研究員研究発表①	ユリホール
6月12日	火	第2回推薦演奏会	ユリホール
6月27日	水	室内合奏団第8回定期演奏会	ユリホール
6月30日	土	昭和音楽大学吹奏楽団／航空自衛隊中央音楽隊 キャンパスコンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
6月30日～7月7日	-	日豪文化交流事業(ジャズ交流 渡豪)	オーストラリア
7月1日	日	学部ミュージカルコース(3年)前期成果発表会	スタジオ・リリエ
7月8日	日	吹奏楽団特別演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月14日	土	学部ミュージカルコース(4年)前期成果発表会	スタジオ・リリエ
8月5日	日	ペーター＝ルーカス グラーフ フルトリサイタル	ユリホール
8月7日	火	短大パレエコース(1, 2年)前期試演会	スタジオ・リリエ
8月8日	水	フェスタ・サマーミュージックKAWASAKI2018 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージック川崎 シンフォニーホール
8月25日	土	Jazz Festival at Conservatory 2018	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
9月22日	土	大学ミュージカル2018「夢遊病の娘」～夢見るように殺したい～	川崎市アートセンター
9月23日	日	〃	川崎市アートセンター
9月29日	土	大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル(日豪文化交流)	ウエスタ川越
10月6日	土	文化庁 平成30年度 大学における文化芸術振興事業 大学オペラ公演2018「ファルスタッフ」 (日中韓 新進歌手交流オペラプロジェクト)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月7日	日	〃	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月11日	木	教員・研究員研究発表②	ユリホール
10月16日	火	第3回推薦演奏会	ユリホール
10月19日	金	第7回アンサンブルコンクール	ユリホール
10月23日	火	第16回学長賞声楽コンクール 予選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月28日	日	第25回コンチェルト定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月30日	火	第16回学長賞声楽コンクール 本選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
11月6日	火	教員・研究員研究発表③	ユリホール
11月13日	火	第4回推薦演奏会	ユリホール
11月25日	日	管弦楽団第37回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

月日	曜日	名称	会場
12月1日	土	第9回音楽大学オーケストラ・フェスティバル(昭和・国立・洗足)	ミューザ川崎シンフォニーホール
12月2日	日	学部バレエコース試演会・卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月4日	火	第16回電子オルガン定期演奏会	ユリホール
12月15日	土	第43回メサイア	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月16日	日	吹奏楽団第32回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月23日	日	短大バレエコース(1, 2年)後期試演会	スタジオ・リリエ
12月24日	月祝	ミュージカルコース・舞台スタッフコース卒業公演「モダン・ミリー」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
1月20日	日	学部ミュージカルコース(3年)後期成果発表会	スタジオ・リリエ
2月10日	日	大学院修士課程修了オペラ公演「偽りの女庭師」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
2月17日	日	短大バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
2月24日	日	学部・短大ジャズ・ポピュラー音楽コース卒業ライブ	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月1日	金	大学院室内楽コンサート	ユリホール
3月15日	金	文化庁委託 平成30年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業 公開試演会	ユリホール
3月18日	月	卒業演奏会	ユリホール
3月19日	火	〃	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月21日	木	卒業式奏楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月30日	土	第8回音楽大学フェスティバル・オーケストラ	東京芸術劇場
3月31日	日	第8回音楽大学フェスティバル・オーケストラ	カルッツかわさき

Ⅱ 演奏会(テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ)

平成30年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場
6月23日	土	第17回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月28日	日	第25回コンチェルト定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月29日	土	第九演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月9日	土	第18回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月6日	日	ザ・しんゆり・ガラ・コンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
8月8日	火	フェスタ・サマーミュージックKAWASAKI2018 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージアム川崎シンフォニーホール

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場
4月28日	土	藤原歌劇団公演「ラ・チェネレントラ」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月29日	日	藤原歌劇団公演「ラ・チェネレントラ」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月12日	土	スターダンサーズ・バレエ団5月公演「ドラゴンクエスト」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月13日	日	スターダンサーズ・バレエ団5月公演「ドラゴンクエスト」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月19日	土	かわさきパラコンサート	カルッツかわさき
8月24日	金	日生劇場ファミリーフェスティバル2018スターダンサーズ・バレエ団公演「ドラゴンクエスト」	日生劇場
8月25日	土	日生劇場ファミリーフェスティバル2018スターダンサーズ・バレエ団公演「ドラゴンクエスト」	日生劇場
8月26日	日	日生劇場ファミリーフェスティバル2018スターダンサーズ・バレエ団公演「ドラゴンクエスト」	日生劇場
9月2日	日	歌劇「愛の妙薬」ハーモニーホール座間ワークショップ参加作品	ハーモニーホール座間 大ホール
10月14日	日	藤沢市民オペラ2018-2020シリーズ 藤原歌劇団招聘公演「椿姫」	藤沢市民文化会館
12月8日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月9日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月15日	土	第8回ベートーヴェン第九コンサート(伊勢原市)	伊勢原市民文化会館大ホール
12月28日	金	OPクレジットカード貸切公演「第九演奏会」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

Ⅲ. 生涯学習講座・提携事業

平成30年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場
通年(隔週)	日	しょうわ ジュニア・オーケストラ ※前期は、かわさきジュニア・オーケストラに参加・活動	南校舎教室
通年	土・日	ピアノ指導法講座(3期+特別講座2期)	南校舎教室
5月～9月	月	日本歌曲を歌おう! 2018(前期) 全10回 5/21、6/4・18、7/2・9・23、8/6・27、9/10、9/15	北校舎教室
5月22日	火	特別授業一般公開 日本伝統音楽演習「能楽」	ユリホール
6月2日	土	ダニエーレ・ルスティオーニ オペラ歌手のためのマスタークラス	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
6月8日	金	文化庁委託 平成30年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 日本のオペラ作品をつくる 第1回 公開講座「アジアからの創作の潮流」	ユリホール
6月17日	日	音楽療法講座Ⅰ 医療領域の音楽療法—うつ病と音楽療法—	南校舎C511
6月20日	水	学長カフェVol.3 新聞記者として、チェロ弾きとして	ユリホール
6月26日	火	特別授業一般公開 日本伝統音楽演習「雅楽」	ユリホール
7月7日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2018—リスト&ワーグナー— 第1回リスト①	南校舎A311
7月21日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2018—リスト&ワーグナー— 第2回リスト②	南校舎A311
8月25日	土	音大で学ぶ!!コンピュータ講座 1. 音楽・楽譜制作講座[Finaleを使って]	南校舎C411
8月26日	日	音大で学ぶ!!コンピュータ講座 2. デジタル作編曲講座[Studio One Primeを使って]	南校舎C411
9月9日	日	大学オペラ公演プレ講座 「ファルスタッフ」の楽しみ方 & ハイライトコンサート	南校舎C511
9月9日	日	音楽療法講座Ⅱ 医療領域の音楽療法—緩和ケアと音楽療法—	南校舎A311
9月26日	水	学長カフェVol.4 尺八と流体力学～二足のわらじ～	ユリホール
10月～2月	月	日本歌曲を歌おう! 2018(後期) 全10回 10/15・29、11/12・26、12/10・17、1/14・28、2/4、2/9	北校舎教室
10月5日	金	大学オペラ公演 ゲネプロ見学会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月13日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2018—リスト&ワーグナー— 第3回ワーグナー①	南校舎A311
10月27日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2018—リスト&ワーグナー— 第4回ワーグナー②	南校舎A311
11月18日	日	音大で学ぶ!!DTM講座 [Ableton Liveを使って]	南校舎C411
3月10日	日	音楽療法講座Ⅲ 医療領域の音楽療法—音楽とウェルビーイング—	南校舎C511
3月17日	日	教養講座 画家・音楽家たちのイタリア旅行 [ピアノ演奏付]	南校舎C511
3月25日	月	日本歌曲を歌おう! 特別講座	南校舎A316
3月28日	木	しょうわ ジュニア・オーケストラ 第14回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

<共催>

月日	曜日	名称	会場
認定NPO法人かわさき市民アカデミー			
5月～7月	水	素晴らしき舞台芸術 イタリア・オペラをもっと知るVol.2 ～そしてオペラの幕は上がる～ 5/9・23、6/6・20、7/4・18	ラ・サラー・スカラ
9月～1月	水	没後150年 いまロッシーニが面白い 9/26、10/10・24、11/14、12/19、1/16	ラ・サラー・スカラ
月日	曜日	名称	会場
株式会社 プレルーディオ			
通年	火・水・木	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会(全12回) 4/19、5/16、6/21、7/18、8/21、9/20、10/17、11/15、12/12、1/17、2/26、3/20	ユリホール
6月24日	日	SHOWAミュージック・カフェ2018① 「DUO ヴァイオリン&ピアノ、金管五重奏“Vivo Brass quintet”」	ユリホール
9月30日	日	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.19	ユリホール
2月11日	月・祝	SHOWAミュージック・カフェ2018② 「オーディション選出者によるコンサート」	ユリホール
3月9日	土	～あなたも名演奏家2018	ユリホール

<提携事業>

新冠町提携事業(新冠町／北海道)	
1. 音楽団体演奏クリニック 2. 新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート	
かわさき ジュニア・オーケストラ(公益財団法人 川崎市文化財団)	

附属機関の活動

《附属図書館》

所蔵資料数は約 17 万冊（タイトル）、閲覧席約 280 席を備え、平日は午前 8 時 45 分から午後 7 時 15 分、土曜日は午前 10 時から午後 5 時まで開館し、多角的なサービスを行っている。又、これから音大受験を考えている高校生以上の方にも学修の場として図書館を開放している。

平成 29 年 4 月には、館内レイアウトを一部変更するとともにラーニングコモンズを設置し、12 月には、利用者の安全を考慮して、ID カードを利用した入退館ゲートシステムを新たに導入した。

図書館では、資料の収集、登録、管理・保管を行うとともに、利用者の学修や研究を支援するため、閲覧、貸出、レファレンス等のサービスを提供している。また、「昭和音楽大学研究紀要」を毎年作成しウェブ上に公開している。さらに平成 29 年度より、博士後期課程修了生による博士論文も公開している。

現在所蔵している資料の情報はデータ化されており、館内に検索用端末 OPAC を設置し、情報を提供している。OPAC は公開していて、外部からの検索が可能になっている。大学が契約しているデータベースも、一定の制限のもとにほとんどが学外からアクセスできるようになっている。

平成 30 年度は図書館システムリプレース作業を行い、2019 年 5 月 7 日から本格稼働している。

《オペラ研究所》

○オペラ研究所の事業

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

●平成 30 年度活動内容

①文化庁との共同研究による研究

文化庁と本学舞台芸術政策研究所の共同研究事業により、独創性のある新たな文化芸術の創造を促進するため、新たな文化芸術の萌芽への支援などの施策の在り方等に資する研究を開始した。

東アジア地域での文化芸術による国際交流が要請される現状を踏まえ、大規模な実演芸術における協働を展望するために、日本・中国・韓国 3 か国の劇場や団体で、オペラをはじめとする実演芸術創造の第一線に携わるリーダーらを招き、今後の国際共同制作上の可能性と課題を問う国際シンポジウムを、舞台芸術政策研究所と共同で開催した。

(1) 公開講座の開催

タイトル：東アジアの実演芸術による国際文化交流を展望する国際シンポジウム

「新たな文化芸術創造活動の創出に向けて ～日本・中国・韓国の実演芸術の現在と

未来を問う」

期日：平成 30 年 3 月 17 日（土）17:00～19:30

会場：昭和音楽大学 南校舎 C511

講師：唐若甫（音楽ジャーナリスト）

※当初登壇予定の銭程氏より変更（本人の都合により）。

イ・ギョンジェ（ソウル市オペラ団団長）

下八川共祐（（公財）日本オペラ振興会常務理事）

石田麻子（本学舞台芸術政策研究所・オペラ研究所所長、教授）

（H29 年度末実施事業）

（2）報告書の作成

上記で実施した公開講座をもとに、平成 30 年度は舞台芸術政策研究所において報告書を作成し、オペラ研究所でも作業の補助を行った。

②日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

③『日本のオペラ年鑑 2017』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2017』を編纂・刊行した。本事業は平成 8 年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁委託事業「平成 30 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として本学が受託した。

【編纂委員（五十音順、敬称略）】

石田 麻子：本学オペラ研究所所長・教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラム
ディレクター（調査研究分野）〔編纂委員長〕

江藤 光紀：筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫：本学教授

河野 典子：音楽評論家

関根 礼子：音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団 理事

堀内 修：音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子：神戸大学大学院准教授

④オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 24～28 年度）により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省

の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

⑤新国立劇場の特別展示に対する調査・監修

公益財団法人新国立劇場運営財団の依頼により「特別展示 文化プログラム企画 [日本の現代舞台芸術]」のパネル展示開催にあたって、オペラ部門の内容についての調査・監修を受託した。平成 30 年度は前年度に調査・監修した昭和 20 年～平成 9 年までの年表に掲載した人物・団体のタブレット解説を作成するとともに、明治元年～平成 9 年までの日本語版年表に基づく英語版作成の調査・監修を行った。

⑥新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書にもとづき、当研究所が引き続きその窓口となった。

《バレエ研究所》

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立した。日本におけるバレエ教育やバレエ文化について調査・研究を行うことが研究所の目的である。本年度は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「バレエ情報センター機能の構築」事業を軸として活動を行った。本事業の趣旨はバレエ関連資料やデータをバレエ研究所において一元的に整理・保存、公開する等、本研究所に日本でも有数のバレエ情報拠点を構築することである。

●平成 30 年度活動内容

1. 「バレエ情報センター機能の構築」[平成 27～31 年度]

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の補助を受け「バレエ情報センター機能の構築」プロジェクトを進めた。本事業はバレエ研究所に、我が国におけるバレエ研究の拠点を形成することが目的である。5 カ年計画の 4 年目となる平成 30 年度には、アーカイヴ構築を推し進め、最終年度にあたる 2019 年度に完成・公開を行うことができるよう、さまざまな活動・研究を行った。

【プロジェクト研究員】

研究代表者

小山 久美 バレエ研究所所長

研究員 [学内] (五十音順)

石田 麻子 本学オペラ研究所所長・教授

岩部 純子 昭和音楽大学 特任専任講師／短期大学部 非常勤講師

尾崎 瑠衣 バレエ研究所 研究員、昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

研究員〔学外〕(五十音順)

薄井 憲二 公益社団法人日本バレエ協会 前会長 (～1月)
海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授
大原 永子 新国立劇場 舞踊芸術監督
高野 明彦 国立情報学研究所、東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
高橋 典夫 一般社団法人日本バレエ団連盟 理事長
松澤 慶信 日本女子体育大学体育学部運動科学科 教授
溝上 智恵子 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 教授

① プロジェクト研究員会議の開催

日時：平成 30 年 7 月 18 日 13 時～14 時

場所：昭和音楽大学北校舎 バレエ研究所

議題：研究進捗状況報告書提出の報告、3 ヶ年(平成 27 年度～平成 29 年度)の活動内容の報告・確認、平成 30 年度の活動予定、平成 29 年度収支報告および平成 30 年度予算案について 等

② バレエ関連資料の拡充、整理

昨年度に引き続き国内外のバレエに関連する資料収集と、国内外のダンスアーカイヴに関する情報収集を行った。国内の舞台芸術関連コレクションで著名な図書館の蔵書を洗い出すことで、バレエ研究所のコレクションに必要とされる書籍タイトルを具体的に割り出し、拡充を行った。本年度は特に洋書コレクション拡充における成果が著しい。世界的に著名なダンス関連書籍の出版元である英国・ダンスブックスより資料を一括購入するなど、様々な活動を行った成果である。

また来年度の公開に向け、利便性の高い書籍の分類方法を検討し、決定するなど、資料の活用においても様々な研究を行った。

③ バレエ資料保存環境の整備

資料保存専用の弱アルカリ性アーカイバル容器を購入し、貴重資料を移し替える作業を行った。また空気中のガスなどによって資料が損傷されるのを防ぐため、専用のシートを購入し、資料にはさみ込むなどの作業を行った。加えて修復の必要な貴重資料を割り出し、専門業者に修復を依頼した。

④ バレエアーカイヴシステム最終版プロトタイプ制作

31 年度に行うバレエアーカイヴシステムの完成・公開に向けて、研究チーム内で検討を重ね、最終版プロトタイプを制作した。ただデータを表示するだけでなく、集積されたデータを時系列・地理的分布などで表示することができるデジタルアーカイヴ設計を目指している。

⑤ バレエ資料のデジタル化

本研究所が所蔵するバレエ公演プログラムコレクションのデジタル化を行った。バレエ公演プログラムの表紙画像スキャンは、研究所内のスキャナーを使い、研究所内のスタッフによって本年度で作業が完了した。また研究所でスキャンすることのできない変型判プログラム等を割り出し、業者に作業を発注した。

⑥ 国内外バレエ環境に関する調査・調査結果公開

国内で開催されているバレエコンクール数や参加者数を集計し、その結果を公開した。調査結果はバレエ研究所ウェブサイトで公開するほか、リーフレットとしてメディアや研究者、関係者等に配布した。調査結果は本年度、すでにメディア等で利用されている。

⑦ 外部評価委員会の開催

平成30年12月には外部評価委員会を開催した。外部の評価委員2名（バレエ評論家 長野由紀氏、舞踊史研究家 芳賀直子氏）に研究内容の評価を依頼した。委員の事業に対する評価は高く、非常に好意的なものであった。

2. バレエダンサーの栄養に関する研究

「水中体重秤量法による体脂肪率測定」

本測定は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「バレエ教育現場との連携による日本におけるバレエ教育システムに関する研究」[平成20～24年]の一環として、平成23、24年度に教育方法研究開発グループが実施した実験であり、以後継続的に実施している女性バレエダンサーの体組成調査である。

実施日：平成30年7月9日（月）

実施場所：慶應義塾大学スポーツ医学研究センター（日吉キャンパス）

参加者数：11名

【バレエ研究所研究員】

所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部 教授

バレエ研究所アドバイザー（五十音順）

石井 清子 東京シティ・バレエ団 評議員

海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授、舞踊評論家

牧 阿佐美 新国立劇場バレエ研修所 所長

研究員（五十音順）

市瀬 陽子 聖徳大学音楽学部音楽総合学科 准教授、
昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

岩部 純子	昭和音楽大学 特任専任講師／短期大学部 非常勤講師
尾崎 瑠衣	昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師
勝川 史憲	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授、 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師
小尻 健太	昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師
杉本 亮子	昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師
村山 久美子	昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

《舞台芸術政策研究所》

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成 25 年 1 月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

●平成 30 年度活動内容

平成 29 年度に着手した独立行政法人 日本芸術文化振興会より受託した「イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」の調査研究が完了し報告書を提出した。調査期間は当初平成 30 年 9 月 30 日までであったが、委託者である日本芸術文化振興会の要請に従い、報告内容を充実させ、12 月に完成させることができた。調査においてはブリティッシュカウンシルの協力も得てイギリスでの現地調査を 4 月～5 月に行い、アーツカウンシル・イングランド、クリエイティブ・スコットランド等の芸術文化の助成組織に加え、英国・スコットランドの政府関係者等の制度設計、制度運営の中核にいる人へのインタビュー、さらには芸術文化団体等の被助成団体に対するヒアリングも行い、充実した調査報告書を仕上げる事ができた。当調査内容については日本音楽芸術マネジメント学会で研究発表され、高い評価を受けている。

「文化庁・大学等共同研究事業」は 2 年目となったが、初年度に実施の日本・中国・韓国 3 か国の劇場や団体において実演芸術創造の第一線で携わるリーダーを招いた国際シンポジウムの報告書を文化庁と完成させた。

また、アジア各国の舞台芸術関係者（劇場・音楽堂、アーティストマネジメント事務所、舞台芸術研究機関等）が一堂に会し、音楽界の国際情勢に関する意見交換・情報交換をする場である FACP（アジア文化芸術交流促進連盟）に参加し、各国の情報を収集した。

加えて、『日本音楽芸術マネジメント学会』の事務局運営を、舞台芸術政策研究所が引き続き実施し、理事会・研究会等の開催について企画立案し、運営した。

【研究員】

所長
石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員 (五十音順)

赤木 舞	昭和音楽大学非常勤講師
大仁田雅彦	昭和音楽大学教授
岸田 生郎	昭和音楽大学教授
酒井健太郎	昭和音楽大学准教授
菲澤 弘志	昭和音楽大学客員教授
袴田 麻祐子	昭和音楽大学嘱託研究員
吉原 潤	昭和音楽大学専任講師

【第 36 回 F A C P 2018in 釜山会議の参加】

期日：平成 30 年 11 月 1 日（木）～11 月 4 日（日）

会場：韓国・釜山

参加者：石田麻子(舞台芸術政策研究所所長、教授)、家安勝利（アートマネジメント研究所研究員）

【日本音楽芸術マネジメント学会】

① 第 10 回夏の研究会

日程：平成 30 年 7 月 21 日（土）13:00 より

会場：大阪音楽大学 100 周年記念館（K 号館）パイプオルガン演習室

シンポジウム《日本から世界へ～日本各地の音楽芸術創造と発信のあり方を考える》

【基調講演】 松坂浩史 文化庁地域文化創生本部事務局長

【パネル・ディスカッション】

[パネリスト]

井原広樹 演出家

酒井健治 作曲家

船木篤也 音楽評論家

松坂浩史 文化庁地域文化創生本部事務局長

[モデレーター]

中村孝義 JaSMAM 理事長、大阪音楽大学理事長・名誉教授

[総合司会]

森岡めぐみ JaSMAM 理事、いずみホール企画部次長

② 第 11 回冬の研究大会

日時：平成 30 年 12 月 16 日（日）9:40-18:40

会場：昭和音楽大学南校舎

【来賓挨拶】 中岡 司(文化庁次長)

【シンポジウム 1】 「音楽批評の今日的役割」

〔登壇者〕 入山 功一 (株)AMATI 代表取締役

東条 碩夫 音楽評論家

平野 昭 音楽評論家

松本 良一 読売新聞文化部記者

〔モデレーター〕 中村 孝義 大阪音楽大学理事長・名誉教授、JaSMAM 理事長

【シンポジウム 2】 「文化芸術への助成制度を考える」

・基調講演 坪田 知広 文化庁参事官(芸術文化担当)

・報告 「日本芸術文化振興会委託『イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に関する助成システム等に関する実態調査』から」

矢田 文雄 (独)日本芸術文化振興会基金部長

石田 麻子 昭和音楽大学教授、JaSMAM 理事、
(独)日本芸術文化振興会プログラムディレクター(調査研究)

・パネルディスカッション

〔パネリスト〕 竹内 淳 ミューザ川崎シンフォニーホール事業部長

坪田 知広 (前出)

西濱 秀樹 (公社)山形交響楽協会専務理事、

(公社)日本オーケストラ連盟専務理事

矢田 文雄 (前出)

〔モデレーター〕 石田 麻子 (前出)

【日本芸術文化振興会からの調査研究受託】

調査内容：「イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」

履行期間：平成 29 年 11 月 11 日～平成 30 年 9 月 30 日まで (報告書完成 12 月)

【東アジア地域での文化芸術による国際交流を展望する国際シンポジウム報告書の作成】

文化庁との共同研究事業により、東アジア地域での大規模な実演芸術における協働を展望するために、日本・中国・韓国 3 か国の劇場や団体で、オペラをはじめとする実演芸術創造の第一線に携わるリーダーらを招いて平成 29 年度末に開催した国際シンポジウムの内容について、報告書として刊行した。

〔タイトル：東アジアの実演芸術による国際文化交流を展望する国際シンポジウム〕

「新たな文化芸術創造活動の創出に向けて ～日本・中国・韓国の実演芸術の現在と未来を問う」

シンポジウム開催日時：平成 30 年 3 月 17 日 (土) 17:00～19:30

会場：昭和音楽大学 南校舎 C511

講師：唐若甫 (音楽ジャーナリスト)

イ・ギョンジェ (ソウル市オペラ団団長)

下八川共祐 ((公財)日本オペラ振興会常務理事)

石田麻子 (本学教授)

《歌曲研究所》

●平成 30 年度活動実績

1) スペイン歌曲研究会

「スペイン歌曲の魅力を伝えるために」

日 時：平成 30 年 4 月 12 日（木）18:00-19:30

場 所：ユリホール

講 師：フリオ・アレクシス・ムニョス（マドリード国立高等声楽学院学長）

演 奏：廣田美穂（本学非常勤講師）、高橋 大（本学重唱研究員）、修士課程 2 年 2 名、
学部 4 年 3 名

ピアノ：岩崎香織（附属教室講師）、修士課程 2 年 2 名

通 訳：濱口 典子（本学非常勤講師）

曲 目：「4 つの愛のマドリガル」より“ポプラ並木に行ってきた、お母さん”

「エル・ビト」、「歌の形をした詩」、オペラ「ゴジェスカス」より“マハと夜鶯”

内 容：マドリード国立高等声楽学院学長であり、声楽レパートリーの専門家として、密度の濃いレッスンが好評のムニョス氏を招き、研究会を行った。

2) 日本語唱法研究部会

「日本の歌ファースト Vol.2～その歌の魅力を伝えるために－実技編－」

日 時：平成 30 年 11 月 15 日（木）18:00-19:30

場 所：南校舎 C511 教室

講 師：郡 愛子 日本オペラ協会総監督

演 奏：修士課程 1 年 3 名

ピアノ：室井 撰（講師）

曲 目：高田三郎「冬の森」「市の花屋」、平井康三郎「九十九里浜」、

中田喜直「ねむの花」「ゆく春」、小林秀雄「落葉松」

内 容：昨年好評であった研究会の第 2 弾を実施。日本オペラ協会総監督の郡氏を招き、
日本歌曲の研究会を行った。

3) 高校生のための歌曲コンクール

平成 1 2 年度から実行委員会形式で開催してきた本コンクールを、平成 1 5 年度より
昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。

1. 過去の参加者数

平成 12 年度（第 1 回） 198 名、平成 13 年度（第 2 回） 249 名

平成 14 年度（第 3 回） 259 名、平成 15 年度（第 4 回） 258 名

平成 16 年度（第 5 回） 248 名、平成 17 年度（第 6 回） 258 名

平成 18 年度（第 7 回） 240 名、平成 19 年度（第 8 回） 199 名

平成 20 年度（第 9 回） 172 名、平成 21 年度（第 10 回） 179 名

平成 22 年度（第 11 回）151 名、平成 23 年度（第 12 回）203 名
平成 24 年度（第 13 回）231 名、平成 25 年度（第 14 回）224 名
平成 26 年度（第 15 回）193 名、平成 27 年度（第 16 回）174 名
平成 28 年度（第 17 回）189 名、平成 29 年度（第 18 回）204 名
平成 30 年度（第 19 回）205 名

2. 平成 30 年度（第 19 回）実施概要

予 選（全国ブロック予選会／公開審査）

- ・日程：平成 30 年 5 月（9 日間）
- ・会 場：全国 8 会場
- ・参加者：205 名（女声 161 名、男声 44 名）

本 選（公開審査）

- ・日 時：平成 30 年 6 月 9 日（土）
- ・会 場：テアトロ・ジューリオ・シヨウワ
- ・参加者：42 名（女声 29 名、男声 13 名）

表 彰 ・優秀賞：6 名
・奨励賞：14 名

《アートマネジメント研究所》

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の 2 つの部門で活動している。

●平成 30 年度活動内容

【アートマネジメント研究部会】

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究発表・研究会を行っている。平成 30 年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No.12」の発行に加えて、「アートマネジメント研究会」を行った。

① 研究会の実施

- ・平成 30 年 6 月 20 日（水） 「体験的文化行政論」
- ・平成 30 年 7 月 18 日（水） 「新国立劇場の意思決定過程について」
- ・平成 31 年 1 月 8 日（火） 「東アジアにおけるオペラの受容構造と創造活動
～第 2 回国際アーツ・アドミニストレーション
上海フォーラムから中国の動向を読み解く～」
- ・平成 31 年 2 月 19 日（火） 中国伝統音楽・芸能の諸相：
伝統音楽・楽器のマーケティングの検討にむけて

② 「音楽芸術運営研究 No.12」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No.12」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配付した。

③ 「アートマネジメント研究会」

ライブ・エンタテインメント調査委員会が毎年実施しているライブ・エンタテインメント市場規模の調査結果について、専門の立場の方から最新の情報をお話しいただくことを目的として、以下の概要で実施した。研究所および関係者に加えて、在學生、現場で仕事をしている卒業生らも参加し、充実した学修および意見交換の場となった。

「ライブ・エンタテインメント市場の推移と特徴・今後の展望」

日 時： 2019年2月7日（木）18:00～19:30

場 所： 昭和音楽大学 南校舎 A211 教室

講 師： 笹井 裕子 氏 昭和音楽大学非常勤講師

（ぴあ(株)共創マーケティング室長／ぴあ総研所長）

【コミュニケーションセンター】

昭和音楽大学コミュニケーションセンター（SCC）は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成 18 年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代 GP）に選定され、平成 20 年度より正規授業としてカリキュラム化され（科目名「音楽活動研究①、②、③、④」）、平成 23 年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCC では、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

① 「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究①、②、③、④」の授業の全般的運営
- ・音楽活動セミナーの企画 計 16 回（音楽活動研究①：7 回、音楽活動研究②：9 回）
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施（下記④に記載）

② 演奏指導活動派遣

麻生区内小学校 1 校、麻生区内中学校 1 校、福祉施設 3 施設

川崎市教育委員会事業 1 事業（下記③に記載）

麻生区役所保健福祉センター事業 1 事業（下記④に記載）

川崎市教育委員会「ヤングかわさきジョイフルバンド」事業 1 事業（下記⑤に記載）

（合計 8 件）

活動数：演奏活動 8 回、教育指導活動 2 回

③ 川崎市教育委員会事業：1 事業

・「平成 30 年度ジュニア音楽リーダー育成事業」

日 時： 2018 年 8 月 19 日（日）、8 月 26 日（日）

場 所： 昭和音楽大学 南校舎 教室 等

④ 麻生区役所保健福祉センターとの連携事業：1 事業

・「音楽の贈り物～みんなでつなごうひとつの輪から」

日 時： 2018 年 12 月 2 日（日） 14:00～16:00

場 所： 昭和音楽大学 南校舎 1 階 C101 スタジオブリオ、他

⑤ 川崎市教育委員会「ヤングかわさきジョイフルバンド」事業：1 事業

・「第 15 回子どもの祭典」事業に関わる「ヤングかわさきジョイフルバンド」楽器指導
(計 3 回)

日 時： 2018 年 9 月 23 日（日） 9:00～16:00

場 所： 平間中学校

日 時： 2018 年 12 月 9 日（日） 9:00～16:00

場 所： 平間中学校

日 時： 2019 年 1 月 6 日（日） 9:00～16:00

場 所： 宮前市民館

⑥ 広報活動：専用ホームページ、ブログの運用 他

《音楽療法研究所》

音楽療法研究所は、平成 30 年度「音楽療法研究の発展に向けて～医療領域の音楽療法～」を年間テーマとして研究活動をおこなった。6 月にはやなせなな氏、7 月には松井紀和客員教授、10 月には丸谷龍思氏と高橋裕秀氏を招き、日本音楽療法学会認定講習会として公開研究会をおこなった。また、平成 31 年 3 月には、高橋由貴子氏を招きキャリア支援講座をおこなった。研究所紀要として平成 23 年度から発行してきた「音楽療法研究」は、平成 30 年度にて第 8 号となった。「音楽療法ディベロップメント事業」では、人材開発、教材開発、音楽療法アーカイブを柱として活動した。特に音楽療法アーカイブでは遠山文吉氏にインタビューをおこなった。なお、本年度は、神奈川県大学発・政策提案制度に応募し採択された。それに関連する単年度新規事業として「地域における福祉・健康・教育のための音楽活用研究」をおこなった。

●平成 30 年度音楽療法研究所 構成員

所 長：羽石 英里（本学教授）

研究員：伊藤 啓子（本学教授）／二俣 泉（本学准教授）／三浦 優佳（本学助教）
青木 久美（本学非常勤講師）／今村 ゆかり（本学非常勤講師）／田坂 裕子
（本学非常勤講師）／田原 ゆみ（本学非常勤講師）／深野 広美（本学非常勤
講師）／村林 信行（本学非常勤講師）／横山 順一（本学非常勤講師）

アドバイザー：松井 紀和（本学客員教授／日本臨床心理研究所所長／精神科医師）／
岸本 宏子（本学名誉教授）

事務担当：永井 秀範（本学総務部部長）／三浦 優佳（本学助教）

●平成 30 年度活動内容

平成 30 年度は、以下の(1)～(4)にわたる事業をおこなった。

(1) 研究所主催研究会の開催

音楽療法の専門家を招聘し、外部音楽療法専門家および音楽療法を学んでいる学生たち
にも広く門戸を開いた公開講座を実施した。学外者に対しては有料（同侪会音楽療法部会
会員 500 円、他大学生・外部専門家 1,000 円）にて実施した。

1. 平成 30 年度 第 1 回公開研究会（学会認定講習会として開催）

テーマ：「生と死を見つめる音楽」

講 師：やなせ なな氏（シンガーソングライター、僧侶）

日 程：平成 30 年 6 月 9 日（土） 会 場：C511 教室

2. 平成 30 年度 第 2 回公開研究会（学会認定講習会として開催）

テーマ：「医療領域の音楽療法の可能性」

講 師：松井 紀和氏

（本学客員教授、日本臨床心理研究所所長、精神科医師、認定音楽療法士）

日 程：平成 30 年 7 月 29 日（日） 会 場：B311

3. 平成 30 年度 第 3 回公開研究会（学会認定講習会として開催）

※地域における福祉・健康・教育のための音楽活用研究事業の一環として実施。

テーマ：「音楽療法に関連する医療分野」

第 1 部：「リハビリテーションとは？」

講 師：丸谷 龍思氏

（みどり野リハビリテーション病院 副院長／リハビリテーション科医長）

第 2 部：「私の考えるパーキンソン病治療：毎日を楽しく！生きるために」

講 師：高橋 裕秀氏

（みどり野リハビリテーション病院 神経内科パーキンソン病治療センター長）

昭和大学藤ヶ丘病院脳神経内科非常勤講師)

日 程：平成 30 年 10 月 28 日 (日) 会 場：A411

(2) 音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

平成 30 年度で発行 8 年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した。

(3) 「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

1. 人材開発 キャリア支援講座

テーマ：「職業としての音楽療法を考える－多職種との関わりからの経験から」

講 師：高橋 由貴子氏 (医療法人大誠会内田病院 音楽療法士)

日 程：平成 31 年 3 月 16 日 (土) 会 場：A311

2. 教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲 (歴代のもの) 曲集としてまとめ、形に残すことを目的とし、作業を開始した。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化 (楽譜作成) をおこなった。

3. 音楽療法アーカイブ

・遠山文吉氏へのインタビュー

我国の音楽療法のパイオニアである遠山文吉氏へのインタビューを実施し、VTR 記録を撮った。インタビューの記録の一部は、今後の研究所紀要に掲載する他、我国における音楽療法の貴重資料として残していく。

日 程：平成 31 年 1 月 18 日 (金)

会 場：本学 C313 (Andante3)

インタビュアー：伊藤 啓子、二俣 泉、深野 広美、田原 ゆみ、三浦 優佳

(4) 地域における福祉・健康・教育のための音楽活用研究

神奈川県との協働事業への応募と実施を見越して、1. 地域貢献事業、2. 共同研究基盤形成事業の 2 点の事業を統合して研究をおこなった。本事業では、①高齢者施設における「音楽活動」「音楽療法」の実施とニーズに関するプレ調査、②神奈川県大学発・政策提案への応募、③地域における福祉・健康・教育のための音楽活用研究をおこなった。

1. 地域貢献事業

地域住民のための健康増進や発達促進などの well-being を目指した音楽療法の実施を実施し、地域貢献における音楽療法の可能性を研究するもの。

2. 共同研究基盤形成事業

物的資源 (学内音楽療法室やコースで保管する教材・楽器類ほか) 及び人的資源 (学内外の音楽療法及びその関連領域と、音楽の専門家) を活かした共同研究を実施することで、専門領域を跨いだ活動にむけて研究するもの。

1) 高齢者施設における「音楽活動」「音楽療法」の実施とニーズに関するプレ調査

高齢者施設において、施設職員がおこなう音楽活動と音楽療法士がおこなう音楽療法の実施状況について、地域高齢者施設を対象とした質問紙調査をおこない、これらへのニーズと施設での実施に係る課題等を明らかにした。本研究の成果は、②大学発政策提案に活かす。

期 間：平成 30 年 3 月～平成 30 年 7 月末

実施者：羽石 英里、伊藤 啓子、白川 ゆう子、二俣 泉、深野 広美、
今村 ゆかり、田原 ゆみ、三浦 優佳

2) 神奈川県 大学発・政策提案への応募

「健康寿命延伸に向けた高齢者施設における音楽活用事業 かながわモデル」

高齢者施設にて心身機能の維持・改善等を目指す効果的な音楽活動を施設職員と共に広く提供するため、人々の健康にむけて音楽を活用する音楽療法の専門性を生かした「音楽活動サポートかながわモデル」を策定し実践する事業を提案し、採択された。神奈川県との協働により、県事業として平成 31 年度、32 年度の 2 ヶ年での実施となる。

実施体制：羽石 英里、伊藤 啓子、二俣 泉、白川 ゆう子、村林 信行、
今村 ゆかり、深野 広美、田原 ゆみ、三浦 優佳

協働者：神奈川県

期 間：平成 30 年 2 月～平成 31 年 2 月現在

事業実施期間：平成 31 年 4 月～平成 33 年 3 月末

3) 地域における福祉・健康・教育のための音楽活用研究

平成 31 年度より開始する神奈川県との協働事業に向けて、地域住民のための健康増進 (well-being) を目指した音楽療法を実施し、地域貢献としての音楽療法の可能性を研究し、地域施設との共同研究の基盤を形成するために、特別養護老人ホーム (川崎市麻生区)、認知症カフェ (海老名市) において、施設管理職種や県担当職員同席・参加のもとでの音楽療法セッションの実施、レクチャー、情報共有、意見交換会による情報共有をおこなった。

期 間：平成 31 年 2 月～平成 31 年 3 月末

実施者：羽石 英里、伊藤 啓子、二俣 泉、深野 広美、三浦 優佳
大山 祥子 (実習研究員)、赤坂 由美子 (研究協力者)、

《音楽教育研究所》

○「推薦音楽会」

平成 7 年度から、附属音楽・バレエ教室の 4 歳～高校 3 年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。平成 17 年度からは音楽教育研究所の管轄とし、実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の

成長について研究課題としている。

平成 25 年度以降の出演者数は以下の通り。() はオーディション参加者数

平成 25 年度	28 名	(87 名)
平成 26 年度	30 名	(64 名)
平成 27 年度	36 名	(58 名)
平成 28 年度	36 名	(49 名)
平成 29 年度	37 名	(49 名)
平成 30 年度	32 名	(49 名)

○「特別レッスン」

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。平成 21 年度から、音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校 2 年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により、無条件で特別レッスンを受講できることにしている。

主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニクの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように学生に還元していくのかを検討している。

平成 25 年度以降の受講者数は以下の通り。

平成 25 年度	26 名	(ピアノ 17 名、ヴァイオリン 7 名、フルート 1 名、 クラリネット 1 名)
平成 26 年度	26 名	(ピアノ 20 名、ヴァイオリン 4 名、オーボエ 1 名、 電子オルガン 1 名)
平成 27 年度	21 名	(ピアノ 12 名、ヴァイオリン 6 名、フルート 1 名、 オーボエ 2 名)
平成 28 年度	21 名	(ピアノ 9 名、ヴァイオリン 4 名、フルート 2 名、 オーボエ 1 名、サクソフォン 1 名、声楽 4 名)
平成 29 年度	25 名	(ピアノ 13 名、ヴァイオリン 6 名、フルート 2 名、 オーボエ 1 名、サクソフォン 1 名、声楽 2 名)
平成 30 年度	19 名	(ピアノ 12 名、ヴァイオリン 3 名、フルート 3 名、声楽 1 名)

○「プラスワン講座」

附属音楽・バレエ教室で開催するピアノのグレード制度「ステップアップ」の審査に付してミニ講座・ミニコンサートを実施している。さまざまなテーマを用いて音楽を幅広い年齢層のピアノ学習者に多角的に伝えることを研究課題としている。

平成 30 年度の実施内容は下記のとおり。

5 月 13 日 (日) 新百合ヶ丘校「ロシアの春」

- 6月 9日(土) 戸塚校 「ピアノで遊ぼう～和音の楽しさ～」
- 7月 7日(土) センター北校 『あの有名な曲』から、クラリネットの秘密を知ってみよう！」
- 8月 4日(土) 藤沢校 「海からの歌のプレゼント」
- 9月23日(日) 新百合ヶ丘校 「くらべてみよう!?知ってみよう☆」
- 10月13日(土) 小田原校 「名曲で楽しむピアノの歴史」
- 11月 2日(日) 新百合ヶ丘校 「音楽でつながろう あなたとわたし」
- 12月15日(土) 本厚木校 「聴いてみよう!オペラ!～歌と声のお芝居～」
- 1月26日(土) 多摩ニュータウン校 「フルートとピアノで音楽の歴史を感じよう」
- 3月10日(日) 新百合ヶ丘校 「未定 ※サクソフォンの予定」

○「音楽教育に関する研究活動」

音楽教育に関する研究活動を行い、長期的で広い観点から検討し、大学で行っている教育活動の向上に寄与している。

《ピリオド音楽研究所》

●平成30年度実績

- ・平成30年4月11日(水) 特別公開講座

「出版譜の編集史からみたバッハの平均律クラヴィーア曲集」

内容： バッハの作品に対する理解を深めていくためには、視点をバッハの時代まで辿り、作曲者の意図を正しく読み取るプロセスが必要である。

しかし、一次資料が完全な形で残っているケースは稀で、様々な周辺情報併せて考察を進めていく必要があるが、様々な新資料の発見などにより、常に再考を要する。J.S.バッハ研究者とりわけ平均律クラヴィーア集研究の権威として知られる富田庸氏を迎えて、自筆譜や筆写譜などの資料研究を通して同曲集（特に第2巻）の理解を深める特別講座を開催した。

講師： 富田庸（英ベルファスト・クイーンズ大学音楽学部教授）

司会： 有田正広

会場： C511 階段教室

入場者： 111名

- ・平成30年6月6日(水) 第23回公開講座

「愛をうたう ～古今東西の愛をテーマとした音楽を訪ねる～」

内容： 芸術家たちは自らの心にあるさまざまな愛を切り取り、それを作品の中に投影して

きた。今回は愛をテーマとした作品の背景にどんな物語があるのかなど、解説を交えて演奏した。有田教授の指導の下で、大学院修士課程1年次に「ピリオド音楽研究」を履修した2年次生が企画立案し、研究成果を発表した。

司会： 有田正広

演奏： 大学院音楽研究科音楽芸術表現専攻生

ピアノ/鶴沼春奈、川島那奈、佐原光 作曲・ピアノ/史蕙

ピアノ・指揮/河野真士（修了生）

サクソフォン/西田早希、柳田恵里、横山璃乃 フルート/笠松映見

曲目： F.クライスラー 愛の喜び（サクソフォン&ピアノ）

L.v.ベートーヴェン ピアノソナタ第27番（ピアノ）

S.ラフマニノフ ヴォカリーズ（2本のサクソフォン&ピアノ）

M.ラヴェル ダフニスとクロエ 第2組曲より（2台ピアノ）

C.ライネッケ ウンディーヌより第3・4楽章（フルート&ピアノ）

F.ショパン エチュード「革命」（ピアノ）

史蕙 Puppet Love(新曲)（全員合奏）

会場： C511 階段教室

入場者： 52名

・平成30年10月18日（木）第24回公開講座 「音楽歴史の旅」

レクチャーコンサート「リコーダーの歴史と音楽 ～イギリスを中心に～」

内容： 日本の小中学校で教育楽器としてお馴染みのリコーダーの歴史を紐解く講座。

西洋ルネサンス&バロック時代に黄金期を迎え、特にイギリスでは市民に熱狂的に受け入れられた後、約100年間姿を消し、20世紀の古楽復興により復活した。

リコーダーの語源とも言われる小鳥にまつわる作品など様々な作品の演奏も交え、全盛期の音楽と復活のストーリーを解説した。

講師・演奏： 江崎 浩司（リコーダー）

演奏： 有田 正広（チェンバロ）、為國 健太（チェロ）

増村 修次（バスリコーダー）、満江 菜穂子（テナー&ソプラノリコーダー）

橋本 慧（アルトリコーダー）

<リコーダーRecorder 名前の語源>

<15世紀>

ヘンリー8世 コンソート8番／作者不詳 コンソート1番

／A.de.フェヴァン「今はもうただ死を心待ちに」

<エリザベス1世>

A.ホルボーン パヴァーヌ&ガイヤルド

<ピューリタン革命>

J.v.エイク笛の楽園第1集より「イギリスのナイチンゲール」

<王政復古、チャールズ2世（亡命先のフランスから帰国）>

A.コレリ「ラ・フォリア」／A.パーチャム ソロト長調

<アン女王、大ブリテン王国>

作者不詳 小鳥愛好家の楽しみより「森ヒバリ」のための曲

／R.O.エカイヤー 様々な鳥の鳴き声の模倣によるトリオソナタより

<ジョージ1世 ドイツ、ハノーヴァーから渡英>

G.F.ヘンデル リコーダーソナタ ニ短調より第1、6楽章

<アーノルド・ドルメッチ>

<1919年リコーダー復元・製作の経緯>

<第1回ヘッスルミア音楽祭>

B.ブリテン アルプス組曲より第1、2、5曲

会場： C101 スタジオブリオ

入場者： 111名

《附属音楽・バレエ教室》

幼児（2歳）から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を開設している。

教室は新百合ヶ丘校（大学内）、小田原校、センター北校（平成30年4月に横浜市営地下鉄「センター北」駅直結の「ショッピングタウンあいたい」5階へ港北ニュータウン校を移転）、多摩ニュータウン校、本厚木校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校（平成30年4月に東急「武蔵小杉」駅から徒歩5分、JR「武蔵小杉」駅北口から徒歩4分の場所に新設。）の9校で展開。約3,400名が在籍している。音楽の各分野では幼児音楽教育、ソルフェージュ、選科（ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲）、大人の音楽レッスン（選科と同科目）、忙しい方のための音楽レッスン（選科と同科目）、ポピュラー音楽、グループヴォーカル、ウェイクアップヴォーカル、ヴォーカルトレーニング、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、楽しくオペラを歌おう、文化箏、二胡等のコース、並びに舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ジャズダンス、キッズダンス、ダンシング・フラ、朗読サロンコース、また教養講座としてイタリア語コースがある他、平成30年には新コースとしてウクレレ、ミュージカルヴォーカル、ストレッチ、心とからだ磨きの朗読、歌声サロン、発声から始める歌謡曲、ジャズピアノを開設するなど、生涯教育の普及活動を通じて地域に貢献している。

《附属ピアノアートアカデミー》

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。現在小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。

その成果として、これまでに多くの在籍者が数々の国内外のコンクール優勝、入賞を果たしている。2011年のリスト生誕200年に行われたリスト国際ピアノコンクールで

優勝した後藤正孝、2013年バデレフスキ国際ピアノコンクール第3位の加藤大樹、2018年高松国際ピアノコンクールを日本人として初めて優勝した古海行子、浜松国際ピアノコンクールで日本人歴代最高位の第2位を受賞した牛田智大を輩出し国内外からの注目を集めた。このような活動に対して川崎市アゼリア輝賞、川崎市音楽特別賞、千葉県芸術文化新人賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞、海老名文化大賞、岩谷時子 Foundation for Youth、出光音楽賞等を受賞。

江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・短期大学部への入学者の確保に主要な役割を果たしており、文字通り本学園の発展の中核を担っている。

○附属ピアノアートアカデミーの活動

- ・ピアノアートアカデミーコンサート：日本を代表する音楽家をゲストに迎え、デュオ、室内楽などを取り入れたコンサートを開いており、演奏会全体の流れを考えた選曲で総合的な場での表現を経験する。
- ・プレビューアカデミー：毎年12月に小学校2年生～高校2年生を対象に開催。ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶワークショップ、そして成果発表の場として学内のユリホールでのコンサートを実施。毎年全国各地から受講者、聴講者が来場する。
- ・ピアノ総合コース：月1回の特別レッスンを実施するコース。小学2年生～高校3年生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養を養うためのクラスのほか、成果発表会なども開催。
- ・ミライの音楽ワークショップ：コンピュータを用いたデジタル音楽の創作・表現を中心とする、現代的な音楽の才能を秘めた若者を発掘し、今後の音楽業界を牽引していくような人材を育成することを理念として新たに始動したプロジェクト。
- ・スキアボンにおけるマスタークラス：附属ピアノアートアカデミーの在籍者やヨーロッパに留学している学生を対象としてマスタークラスを開催している。
- ・特別クラス：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援。
- ・在籍生が出演したホール及び協演したオーケストラ：ユリホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホール、紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、白寿ホール等でのコンサート、NHK交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京シティー・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティー管弦楽団、テアトロ・ジューリオ・シウワ・オーケストラ等
- ・在籍生の主なテレビ出演：テレビ朝日「関ジャニ∞のTheモーツァルト音楽王 No.1 決定戦」にて黒木雪音が優勝（2連覇）、テレビ朝日「題名のない音楽会」では田久保萌夏、牛田智大、古海行子、NHK-BSプレミアム「蜜蜂と遠雷～若きピアニストたちの18日～」では牛田智大が出演している。
- ・近年のCD発売：CDリリースでは、細川千尋が「Thanks!」と「I'm home」、黒木雪音がナクソス・ジャパンの「バデレフスキ：ピアノ名曲集」を、2019年には古海行子が日本コロムビアのOpus OneレーベルよりCDデビューをした。